

はあとわんニュースレター

2025年8月



夏本番ですね！



暑い日が続いていますが、わんちゃん・ねこちゃんも

元気にお過ごしでしょうか？

本格的な夏を迎え、熱中症には特に注意が必要な季節です。

お散歩の時間帯や室内の温度管理を工夫して、

元気に夏を乗り切りましょう！



水分補給をしっかりと！



8月は暑さで食欲が落ち、わんちゃん・ねこちゃんも夏バテしがちな時期です。

食べる量が減ると体力が落ちて、脱水症状や体調不良の原因になることも。

お水を飲みやすくしたり、フードを工夫したりして、少しでもしっかりと栄養が摂れる

ようにしてあげましょう！夏を元気に乗り切るために、普段の様子をよく観察して、

少しでも心配なことがあればお気軽にご相談ください。



夏の皮膚トラブルご存知ですか？

気温と湿度が高くなる 8 月は、わんちゃん・ねこちゃんの皮膚トラブルが特に増える時期です。

蒸れた状態が続くと、外耳炎や湿疹、カビや細菌の繁殖が起こりやすくなります。かゆみや赤みはもちろん、症状が悪化すると治療や通院の負担も大きくなってしまいます。

どんなものがあるの？

・外耳炎：

耳の中が蒸れて雑菌が増えることで炎症が起こります。

耳をかゆがったり、においが強くなるのがサインです。

・湿疹（膿皮症など）：

皮膚に赤みやかさぶたができ、かゆみを伴います。

放っておくと全身に広がることもあります。



・真菌症（カビ）：

特に高温多湿で繁殖しやすく、被毛が抜けて円形の脱毛になることも。

予防するためには

定期的なシャンプーやブラッシングで皮膚を清潔に保ちましょう。

垂れ耳の子は耳掃除もこまめに！

室内の湿度管理や、濡れたままの被毛をしっかり乾かすことも大切です。

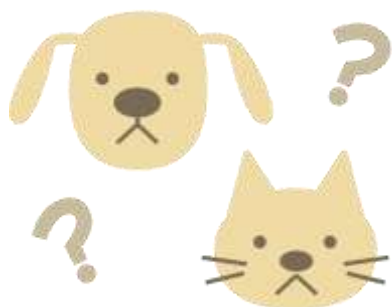
かゆみや赤みなど異変に気付いたら、早めに動物病院へご相談ください 🐾





犬や猫の体の中で一番汗をかくのはどこでしょう？

答えは下にあります



① 舌(ベロ)

② 肉球

③ おなかの皮膚

ワンちゃん・ネコちゃんの体温調節

犬や猫は人間のように全身から汗をかいて体温を下げることはできません。体温調節のほとんどを「パンティング（ハアハアと舌を出して早い呼吸をすること）」で行っています。



犬や猫は人間のように全身から汗をかいて体温を下げることはできません。

そのため、犬は「パンティング（ハアハアと舌を出して早く呼吸すること）」という方法で体の中の熱を逃がし、体温調節をしています。猫は基本的にパンティングを行わず、暑いときには風通しの良い場所や涼しい場所を探して体温を下げようとします。

※猫が口を開けてハアハアしている場合は、熱中症などの体調不良のサインである可能性があるため要注意です。

汗をかいて熱を逃がすことができない犬や猫にとって、「お水をこまめに飲めるようにする」「涼しい場所を用意する」「暑い時間帯の散歩を避ける」など、飼い主さんの工夫が大切です。

正解:②

犬や猫は人間のように全身の皮膚に汗腺がなく、唯一しっかり汗をかくのは肉球なんです。汗だけでは体温調節が難しいので、パンティング（ハアハア呼吸）で体を冷やしています。

ワンちゃんクッキング



素早く簡単に作れるレシピをご紹介します♪

イワシのグリル



- イワシ3枚おろし 1尾
- 米粉 適宜
- ブロッコリースプラウト 6g
- すりごま 2g
- レモン果汁 適宜
- 大豆油 適宜

参照:犬との暮らし大百科

●手順

1. イワシを食べやすい大きさに切り、米粉をまぶして大豆油で両面焼く。
2. ブロッコリースプラウトをみじん切りにし、すりごまと混ぜ合わせる。
3. 焼いたイワシと「2」を和える。

※小型犬の場合は骨を取ってあげましょう。



旬の脂がのったイワシには認知症の予防などに期待されるオメガ3脂肪酸がたっぷり入っています。オメガ3脂肪酸は酸化しやすいためレモン果汁とブロッコリースプラウトを加えることでそれを防いでいます。

マグロと山芋のサラダ



- マグロ赤身 70g
- 山芋 60g
- ブロッコリースプラウト 5g

参照:猫との暮らし大百科

●手順

1. 山芋の皮を剥いて5mmくらいの角切りにする。
2. ブロッコリースプラウトの根をとり微塵切りにする。
3. マグロを5mmくらいの角切りにする。
4. 全てを混ぜる。

赤身のまぐろは、血液の材料になる鉄分やたんぱく質が豊富です。消化を助ける働きのある長いものを組み合わせることで、胃腸の働きを助けます。山芋の角切りを好まない猫ちゃんには、すりおろした山芋でマグロを和えてあげましょう。



Animal Hospital



ワンニャントピック



コタツを片付けようとすると…

グレートピレニーズの「アラン」くん、さすがに暖かくなり、お母さんがコタツを片付けようとすると断固反対。片付けの邪魔をします。困惑するお母さんの姿を見て心が揺らぐアランくん。その隙にお母さんがコタツの片付けを開始すると、気付いたアランくんが「やっぱりダメ！」と再び阻止。熱心すぎる愛犬の訴えに根負けしたお母さんは、片付けを諦めることに。コタツを守ることができたアランくんは、最後に安心した表情ですやすやと眠るのでした。



出典：<https://news.yahoo.co.jp/articles/c5b658b8c6d9112baf70fad26d8f20be109acabb>



病院だと気づいてフリーズ！？



X・ユーザーのとりねゆこさん (@ZUfSk3ITiUPzAPW) の愛猫「ハナ」ちゃん (5歳・女の子)。

キャリーバッグの上にある開閉口のファスナーが少し開いたところから、ひょっこりと顔をのぞかせるハナちゃん。きょとんとした表情で飼い主さんを見つめたあと、ハッとしたように首を引っ込めます。続いて、ファスナーを押し上げるように首をぐーんと伸ばして再び、周囲を観察します。すると、「ここは病院では…？」と気づいた様子で、飼い主さんを見つめたままフリーズ状態になりました。

出典：<https://maidonanews.jp/article/15869768>





パーフェクト・ブルー

著者：宮部みゆき



元刑事の父の跡を継ぎ、探偵事務所を営む若き探偵・加代子と相棒のラブラドル・レトリバー、マサ。仕事は依頼人のストーカー調査や浮気調査、行方不明者探しと決して派手ではない。

そんなある日、名門高校のエースとして将来を嘱望されていた野球少年・梅田英夫が何者かに殺される事件が起こる。

失意の中、真実を知りたいと願う母親からの依頼で加代子とマサは調査を始めるが、やがて浮かび上がるのは、少年の知られざる素顔と彼を取り巻く家族、友人たちの複雑な思いだった。

人が抱える“悲しみ”と“救い”を
犬のマサと共に追いかける探偵ストーリー。

出典：<https://www.mottainaihonpo.com/kaitori/contents/cat01/dog-novel.html>

Animal Hospital

